

# 放課後等デイサービス<支援プログラム>



健康・生活

運動・感覚

認知・行動

言語・コミュニケーション

人間関係・社会性

○健康で元気な体づくりを行う。

**基本的な生活リズムを養う**

- 食育⇒園芸（野菜を育てる）クッキング（作る楽しさ、食べる楽しさを味わう）
- 体と心の成長について一緒に考えながら、自分自身を知る。（同年代の子ども同士での対話を重視）⇒「一緒だ〜」一人でない気づき
- 色々な人・場所での体験的な活動から、自分の好きな感覚・嫌いな感覚を知る。⇒自分の中の【嫌い】【好き】【苦手】【得意】を知り、次に繋げることが出来る。
- 自分の体の使い方を知る。
- 自分の中の ON/OFF⇒感情の切り替え方を見つける。
- 地域のスポーツイベントに参加する。
- カレンダー（日付・曜日）・時計（時間）を見ながら行動することが出来る。⇒スケジュール管理が出来るようになる。
- 季節の行事を楽しむ。

例) 節分、ひなまつり、こどもの日、ハロウィン等

○自分の得意な事を知り、【強み】として活かせる環境づくり。

**地域のサークル・部活動への移行に繋げる**

- やる前から「無理」「出来ない」ではなく、まず、挑戦する勇氣（友達・職員と一緒にいたら出来る）を色々な体験から身につける。
- 「こんな時、どうするの？」を体験しながら、事業所以外の場所でも自分で発信できるようにしていく。
- 【報告】【連絡】【相談】を日々の活動の中に取り入れながら、卒業後を見据えた支援を行う。

○日々の活動を行いながら、人・物・場所に興味を持ち、自分（家庭）以外の外に目を向け、日々、折り合いをつけながら生活できるようにしていく。\*人にHELP（頼む、甘える）が出来る力

★家族以外の友達のキーパーソンを作る

○自立を意識し、地域との交流や体験を行いながら、卒業後の進路と一緒に考えていく。\*卒業後の自分の趣味・楽しみを一緒に見つける（一人の時間の使い方・楽しみ方）

**【自律】【自立】**  
⇒先を見据えた支援

子ども達の「やってみたい」気持ちを育てる  
↓  
「できた」「できる」といった  
**【自信】**

保護者・相談員・関係者と共に、連携しながら支援を行う  
↓  
環境調整



**移行支援**

**【個別の支援計画】に基づいて行う!**

曜日	月～金曜日	土曜日
午前	○個別設定活動 ⇒発達段階に応じて、活動プログラムを立て活動していく ↓ *長期休みの場合、発達段階に応じてグループを分けて少人数グループでの活動	○クッキング ⇒食育：「調べる→買う→作る→食べる→片付ける」の作業を役割分担しながら行っていく *発達段階により、クッキングが困難と思える利用者に対して、所外活動に変更することもある
<b>昼食</b>		
午後	○自由活動 ○学習支援（宿題） ○おやつ ○設定活動	○自由活動（片付け・掃除） ○所外活動 ○おやつ